

## 第2回 東部地域ケア会議

平成26年3月16日（日） 14:00～  
東部地域センター

### 会議次第

---

- ▶ 開会のあいさつ
- ▶ 会議の趣旨説明／要領の確認
- ▶ スタッフ 自己紹介
- ▶ 東久留米市の高齢者の統計について
- ▶ 平成25年度 東部地域支援計画 実施報告
- ▶ 平成26年度 東部地域支援計画(案)
- ▶ 意見交換

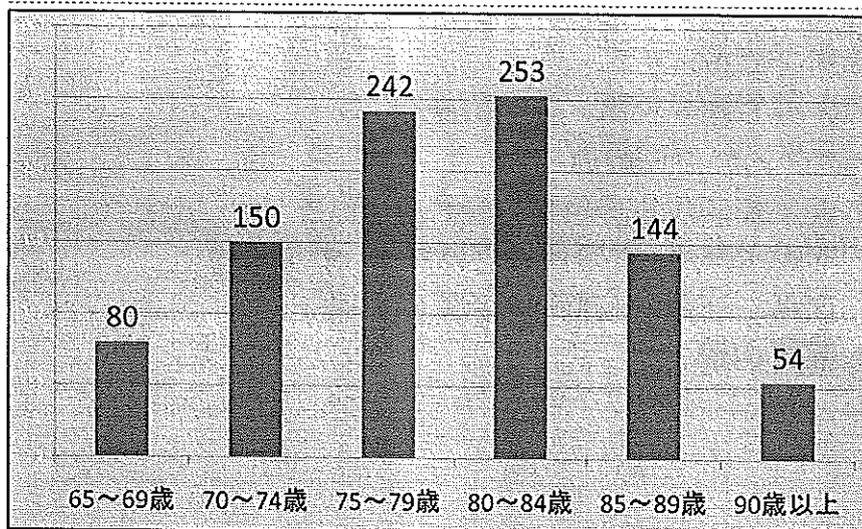
---

▶

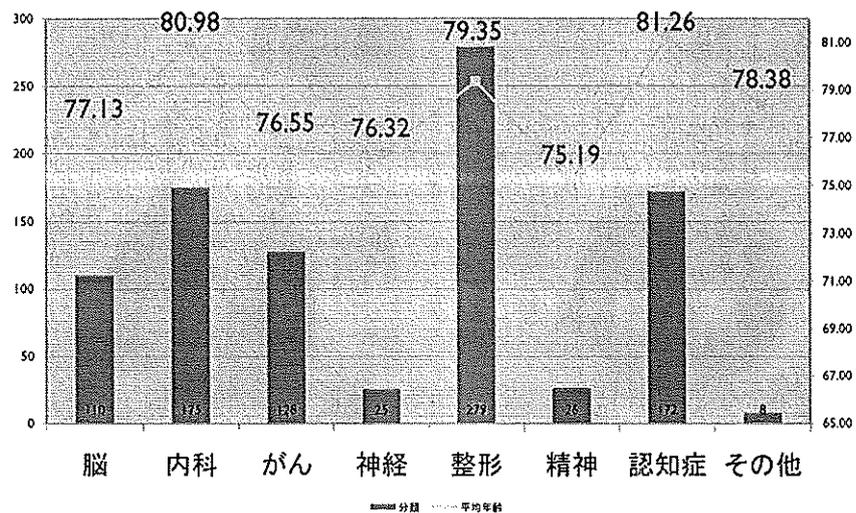
## 東久留米市高齢者の統計

平成24年度

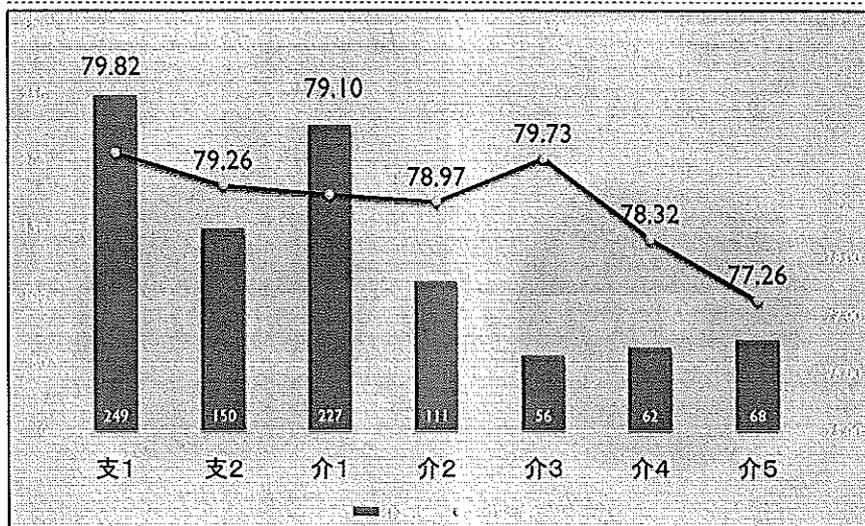
### 各年齢階級ごとの新規認定者数



### 原因疾患別 新規認定者数と平均年齢

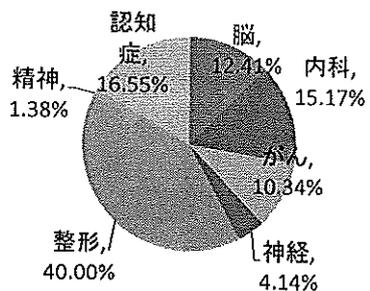


### 介護度別 新規認定者数と平均年齢

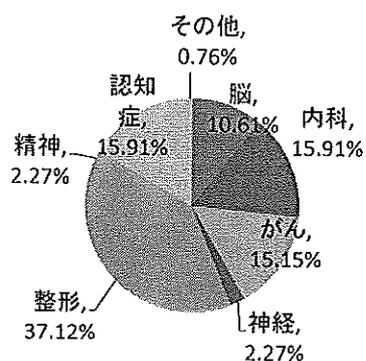


### 新規認定者 原因疾患 (4月～9月 東部)

平成24年度

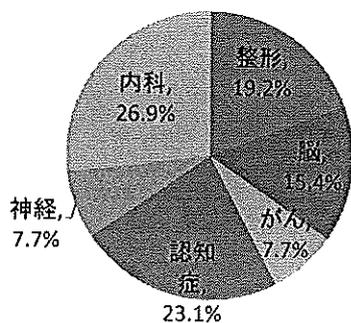


平成25年度

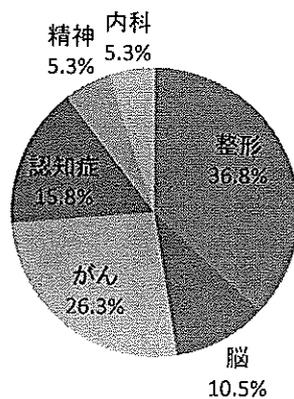


### 小山 (4月～9月)

平成24年度



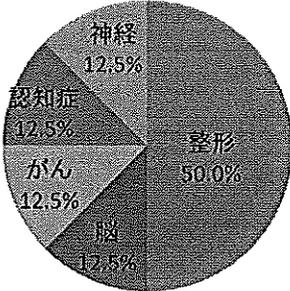
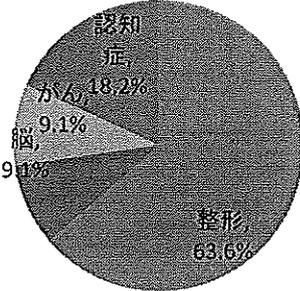
平成25年度



### 東本町（4月～9月）

平成24年度

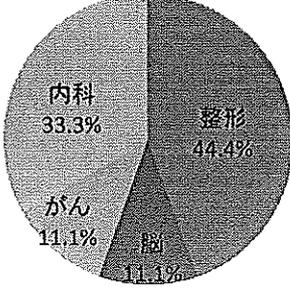
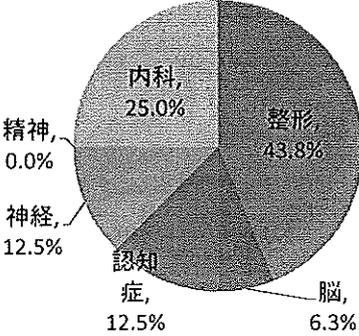
平成25年度



### 大門町（4月～9月）

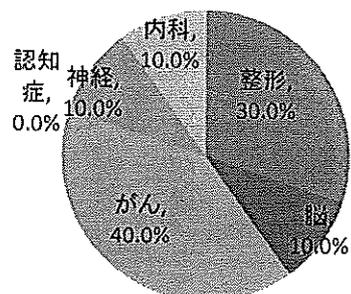
平成24年度

平成25年度

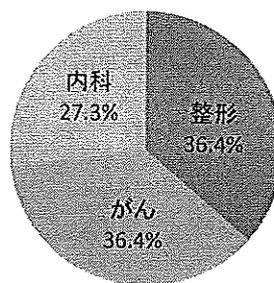


### 新川町（4月～9月）

平成24年度

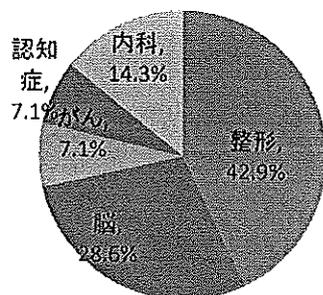


平成25年度

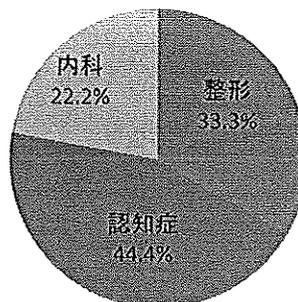


### 神宝町（4月～9月）

平成24年度

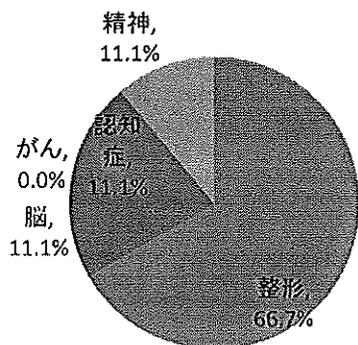


平成25年度

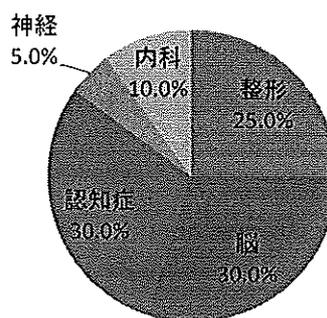


## 金山町 (4月～9月)

平成24年度

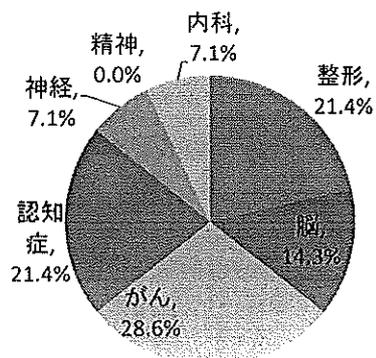


平成25年度

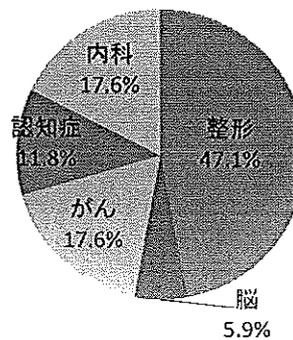


## 上の原 (4月～9月)

平成24年度

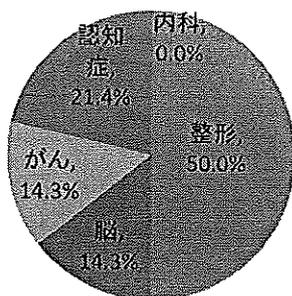


平成25年度

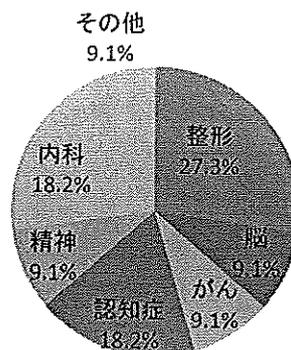


## 氷川台（4月～9月）

平成24年度

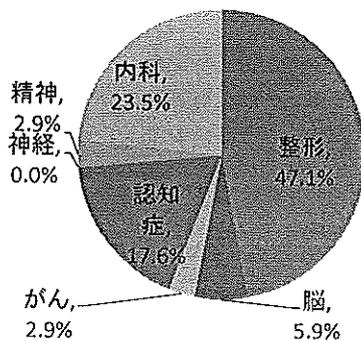


平成25年度

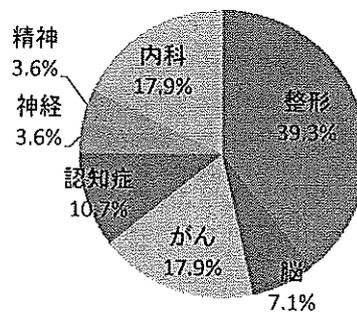


## 浅間町（4月～9月）

平成24年度



平成25年度



平成25年度 東部地域支援計画  
実施報告書

別紙参照

地域包括支援センターの機能  
と役割が十分に周知されてい  
ない。

安心して過ごせる地域づくりを地域住民と協働して地  
域包括支援センターが行う。

## 相談件数の増加（別紙参照）

▶ 地域ケア会議やミニコミ誌の発行に自治会さんなどが協力していただいたことで…

- ① 平成24年度よりも  
平成25年度の相談件数が増加
- ② 要支援の方のケアプラン数も増加



見守りネットワーク体制の構築が不十分である。

見守り体制が確立し、支援が必要な高齢者の早期発見や早期支援の開始ができる。

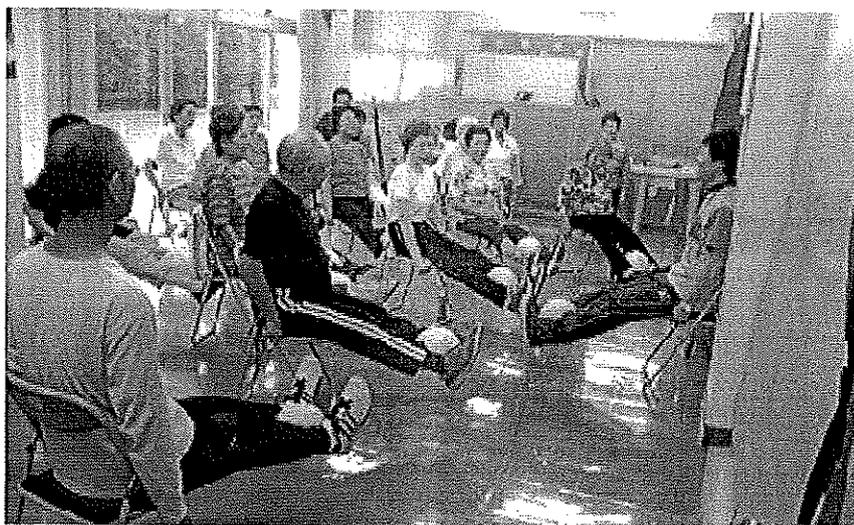
## 氷川台自治会



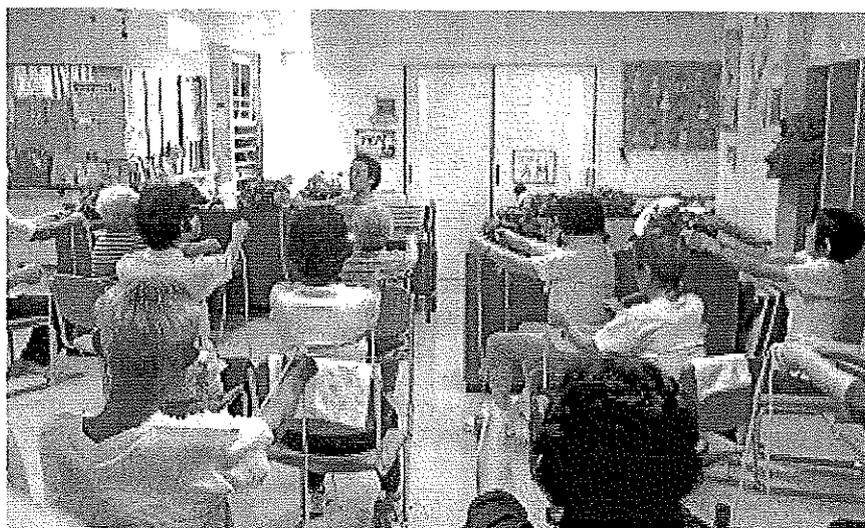
## 上の原体操教室



### 浅間町自治会体操教室



### 東部地域センター体操教室



## 門前自治会・下山親睦会 地域ケア会議

▶ 平成25年10月13日(日)14:00～

▶ マザアス東久留米 3階 地域交流ロビーにて

▶ 会議結果

① 元気長生き体操教室の開催継続

第1・3金曜日 10:00～11:30

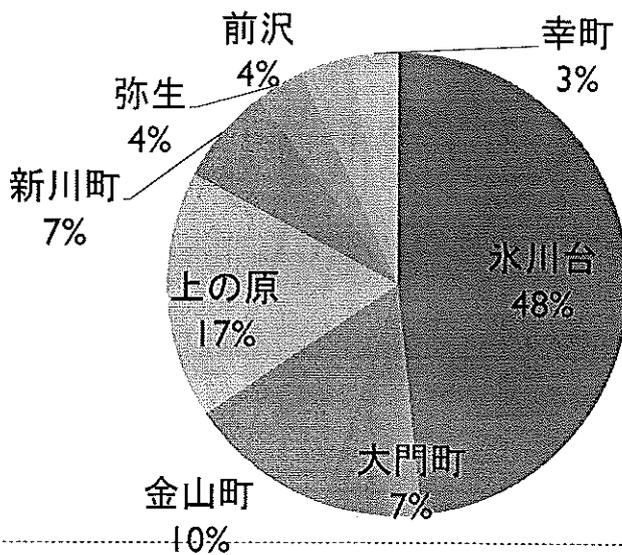
マザアス東久留米 地域交流ロビー3階

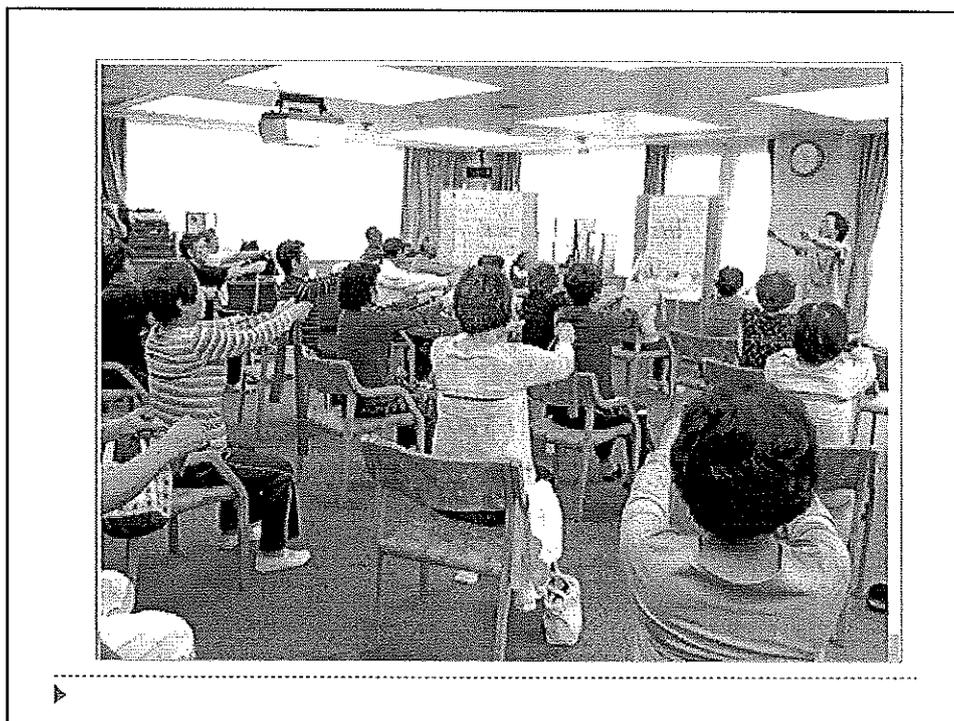
講師：マザアス氷川台デイサービス スタッフ

② 家事講座の開催検討



## 元気長生き体操教室の参加町別割合



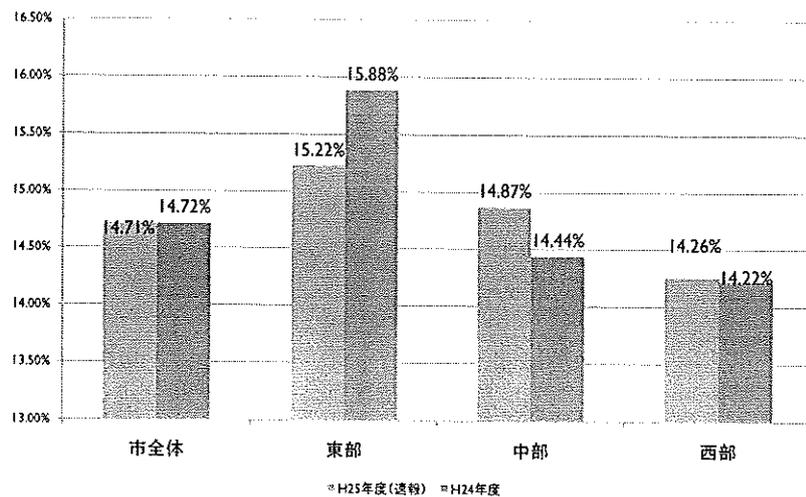


整形外科疾患での新規申請者が多く、運動機能低下に伴う閉じこもりのリスクや認知症のリスクが高い。

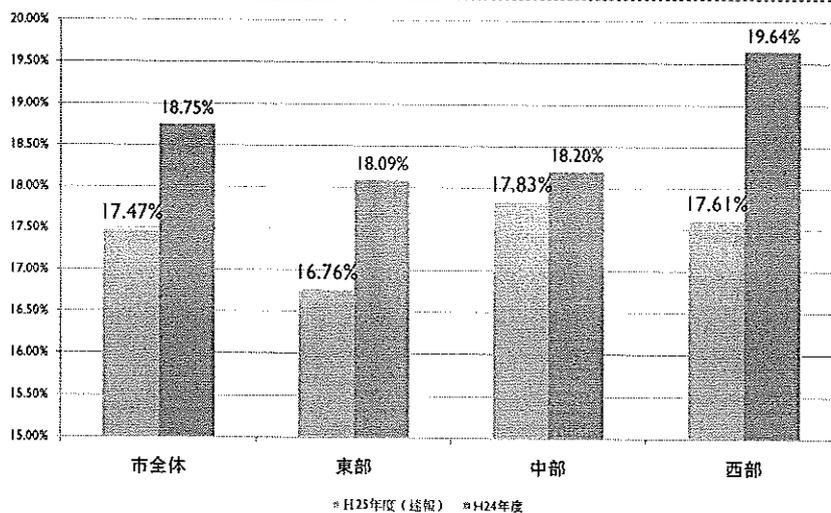
出かけた時に出かけられる体力を維持し、住み慣れた地域で暮らすことができる。



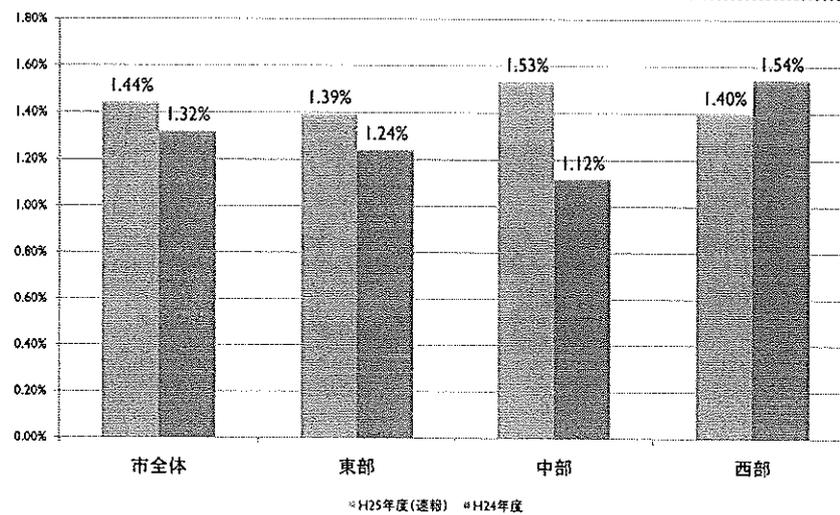
### 東久留米市 運動機能低下リスク



### 東久留米市 口腔機能低下リスク



## 東久留米市 低栄養リスク



## 高齢者あんしん生活調査の結果

- ▶ 平成25年度 高齢者あんしん生活調査
- ▶ 対象地域 小山1丁目～3丁目
- ▶ 期 間 平成25年6月～10月
- ▶ 対象者数 236名(独居66名 高齢者世帯170名)
  
- ▶ アンケートの実施結果 別紙参照  
浅間町3丁目との比較

## 認知症に対する正しい 知識が普及していない

認知症になっても、周りの理解やちょっとしたお手伝いがあり、安心して過ごせる地域にする。

### 認知症サポーター養成講座の開催



## 認知症サポーターフォロー講座



各地域の課題やニーズについて、  
地域との共有が十分でなく、公助  
共助では担えない部分が多い。

各地域の課題やニーズの共有ができ、自助・互助の仕  
組みが強化され、住み慣れた地域での暮らしを安心して  
継続できる。

平成25年度 東部地域支援計画 実施報告書  
実施結果に対する評価（1）

- ▶ 地域包括支援センターの機能と役割が十分に周知されていない。  
→相談件数の増加(別紙参照)
- ▶ 見守りネットワーク体制の構築が不十分である。  
→各地で体操教室が開催され、自治会、民生委員さんや見守り支援隊の協力が得られている。
- ▶ 整形外科疾患での新規申請者が多く、運動機能低下に伴う閉じこもりのリスクや認知症のリスクが高い。  
→元気度アンケートにおいては、平成24年度に比べてリスクありの方が減っている。

▶

平成25年度 東部地域支援計画 実施報告書  
実施結果に対する評価（2）

- ▶ 認知症に対する正しい知識が普及していない。  
→自治会さんの協力を得て、サポーター養成講座を開催することができ、総勢146名の方に受講いただけた。  
→認知症サポーターフォロー講座を開催し、56名の受講があり、見守り支援隊29名が誕生した。  
少しずつではあるが、普及が行えていると考える。
- ▶ 近所の助け合いの力を地域包括や居宅支援事業所が把握しきれずに、個々の支援に活かしきれしていない。  
→ケアマネ支援を地域包括が行なう中で、情報提供が行えている。
- ▶ 各地域の課題やニーズについて、地域との共有が十分でなく、公助・共助では担えない部分が多い。  
→地域ケア会議において、自治会さんの参加率が高くなっている。

▶

## 平成26年度 東部地区支援計画書について

---

- ▶ 小山地区のあんしん生活調査をもとに、体操教室を実施
  - ▶ 門前自治会・下山親睦会の体操教室の自主グループ化
  - ▶ 浅間町自治会の体操教室の自主グループ化
  - ▶ 東部地域センターの体操教室を自主グループ化
  - ▶ 家事講座開催に向けて、講師の手配やカリキュラムについての検討
  - ▶ 認知症サポーター養成講座の開催
  - ▶ 認知症サポーターフォロー講座の開催
  - ▶ 小地域ケア会議の開催  
(体操教室の自主グループ化や見守り体制について)
- 

▶

## 意見交換・情報交換

---

- ▶ 2月の除雪について
  - ▶ 互助の機能について
  - ▶ 小地域ケア会議について
  - ▶ 東部ふれあい体操教室について
- 

▶